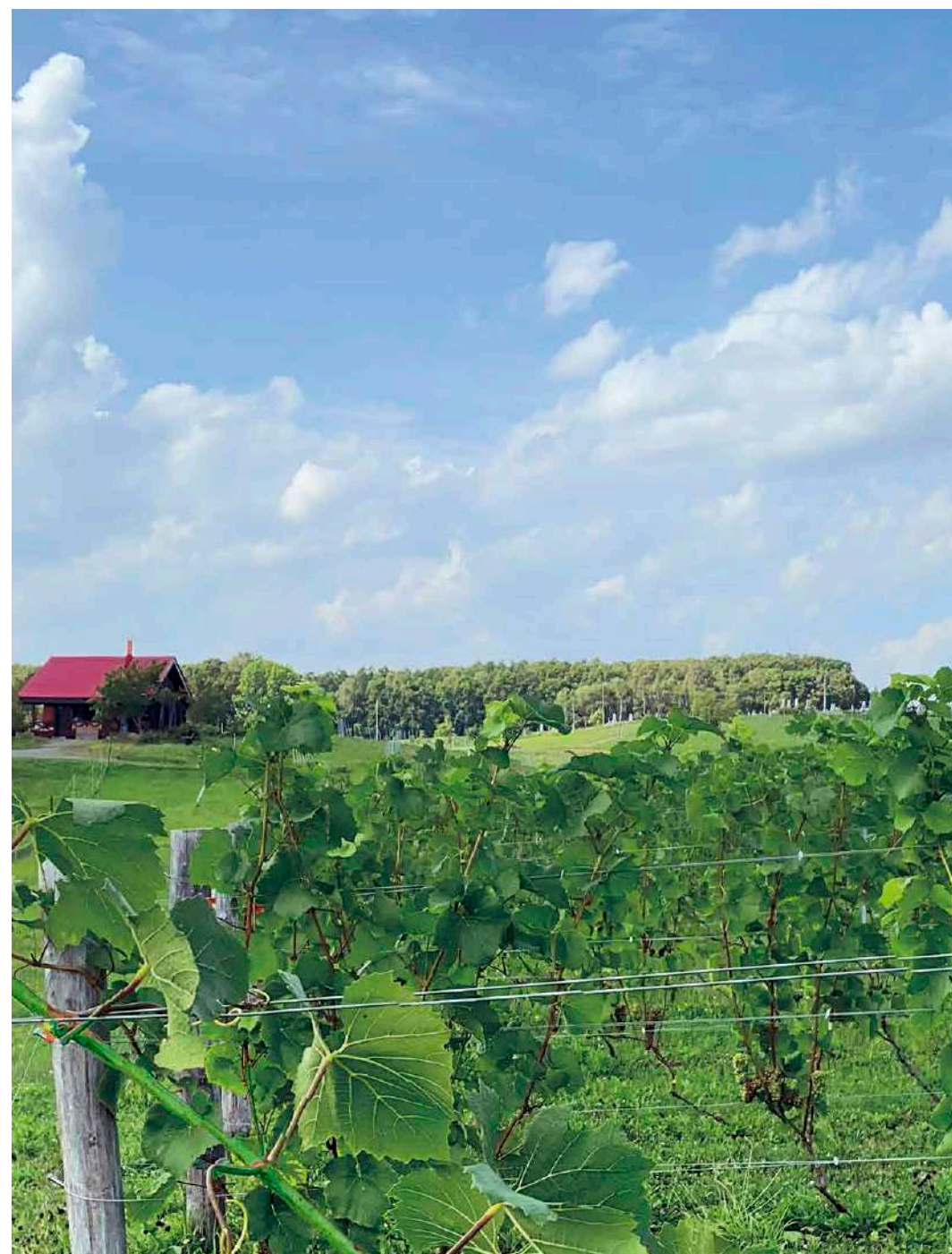




社会福祉法人 鷹栖共生会



鷹栖共生会の三十年

社会福祉法人 鷹栖共生会

「セカイノカタチ」

鷹栖共生会の三十年



「セカイノカタチ」

鷹栖共生会の三十年

目 次

鷹栖共生会のあゆみ	2
-----------	---

事業所紹介

大雪の園	8
旭川ヒューマンサービスセンター	16
柏の里デイセンター	22
みらい (M i r a i)	28
ぴあふる岩山	34
とわ北斗	40
恵 風	46
春 風	48
相談支援センター	49

法人活動

法人アンサンブル	50
絵画活動	52
自治会活動	54
太鼓・ソフトボール	55

これからの活動

フラワーガーデン	56
ロッキーランド	57

きょうのいのち輝き
共に生きる

法人設立30周年 鷹栖共生会 の あゆみ

平成2年(1990年)

- 5月 社会福祉法人設立認可申請を北海道知事より得る
- 6月 日本小型自動車振興会より補助金の交付決定を受ける
(大雪の園整備)

平成3年(1991年)

- 4月 知的障害者更生施設「大雪の園」運営開始(定員50名)
- 6月 日本小型自動車振興会より補助金の交付決定を受ける
(オサラッペ交遊館整備)

平成4年(1992年)

- 1月 「大雪の園」に地域交流ホーム「オサラッペ交遊館」を併設
- 4月 「大雪の園」に通所部定員15名を附設
- 10月 知的障害者自活訓練事業開始(ケアハウス)

平成5年(1993年)

- 3月 グループホーム用ワンルームマンション完成(5室)
- 4月 心身障害者地域共同作業所「旭川すずらん作業所」運営開始
(定員15名)
- 5月 「大雪の園」の通所部の定員を19名に増員
- 10月 グループホーム「デュエット」運営開始(定員4名)
中央競馬馬主社会福祉財団より補助金の交付決定を受ける
(旭川すずらん作業所整備)

平成6年(1994年)

- 12月 福祉の店「チコリ」を開設 家族会による営業開始

平成7年(1995年)

- 5月 知的障害者通所授産施設「旭川ヒューマンサービスセンター」運営開始(定員30名)
心身障害者地域共同作業所「旭川すずらん作業所」を末広に移転

平成8年(1996年)

- 4月 「旭川ヒューマンサービスセンター」の定員を45名に増員
グループホーム「あすか」運営認可(定員4名)



大雪の園 開園式



「大雪の園」「オサラッペ交遊館」
総合落成式



グループホーム「デュエット」



福祉の店「チコリ」



グループホーム「あすか」



宿泊研修ハウス
「あじさい」



グループホーム
「うらら」



「棟寮
(おうちりょう)」



「すずらん作業所」のちに「旭川
ヒューマンサービスセンター」



「柏の里デイセンター」



「旭川すずらん作業所」



「伝承館」



グループホーム「さくら」



グループホーム「ういず」



地産地消の店「チコリ」

平成9年(1997年)

- 4月 「旭川ヒューマンサービスセンター」の定員を50名に増員
- 7月 「旭川すずらん作業所」で無添加パンの製造販売開始
- 10月 グループホーム「はるか」運営認可(定員4名)

平成10年(1998年)

- 4月 「大雪の園」で知的障害者短期入所事業を開始
心身障害者地域共同作業所「ベーカリーショップMirai」が
豊岡で運営開始
- 11月 中央競馬馬主社会福祉財団より補助金の交付決定を受ける
(伝承館整備)

平成11年(1999年)

- 6月 宿泊研修ハウス「あじさい」完成
- 11月 作業訓練棟「伝承館」完成

平成12年(2000年)

- 4月 「旭川ヒューマンサービスセンター」の分場「北斗」を鷹栖町
に開設(定員10名)
- 10月 グループホーム「うらら」運営認可(定員4名)

平成13年(2001年)

- 10月 グループホーム「さくら」運営認可(定員4名)

平成14年(2002年)

- 4月 「大雪の園」の分場を運営開始(定員15名)
- 10月 グループホーム「ういず」運営認可(定員4名)

平成15年(2003年)

- 4月 知的障害者居宅介護事業「柏の里居宅支援センター」運営認可
「大雪の園」の分場の定員を19名に増員
福祉の店「チコリ」の運営を家族会から法人へ移管
- 9月 福祉の店「チコリ」を鷹栖町中心部に移転
(地産地消の店「チコリ」に名称変更)
- 11月 「大雪の園」の入居棟「棟寮(おうちりょう)」完成
- 12月 グループホーム「えぶり」運営認可(定員4名)

平成16年(2004年)

- 1月 知的障害者通所更生施設「柏の里デイセンター」運営開始
(定員50名)
母体となった「大雪の園」通所部(定員19名)及び分場(定員
19名)は廃止
- 4月 「旭川すずらん作業所」及び「ベーカリーショップMirai」を
統合し、「旭川ヒューマンサービスセンター」の分場の「みら
い(Mirai)」(定員19名)として運営開始

平成17年(2005年)

- 4月 「柏の里デイセンター」でデイサービス事業(定員15名)と単独型短期入所事業(定員2名)開始

平成18年(2006年)

- 4月 「柏の里デイセンター」で地域活動支援事業開始
グループホーム「あいる」運営認可(定員4名)
- 10月 「柏の里デイセンター」を多機能一体型(生活介護50名、就労継続支援B型10名、短期入所2名、居宅介護、行動援護)で新事業体系へ移行
グループホーム全てを新事業体系ケアホームに移行
ケアホームさくら(「さくら」「デュエット」「うらら」「あすか」)
ケアホームういず(「ういず」「えぶり」「はるか」「あいる」)

平成19年(2007年)

- 1月 清水基金より補助金の交付決定を受ける(鷹栖地域支援センター整備)
- 4月 「大雪の園」を多機能型(施設入所40名、生活介護45名、就労継続支援B型15名、短期入所2名)で新事業体系へ移行
「旭川ヒューマンサービスセンター」を多機能型(生活介護37名、就労移行支援8名、就労継続支援A型13名)で新事業体系へ移行
「みらい(Mirai)」を施設化し多機能型(就労移行支援7名、就労継続支援B型15名)で新事業体系へ移行
ケアホーム「とも」指定開始(定員4名)
ケアホーム「デュエット」の定員を8名に増員
- 5月 法人独自の地域支援センター(鷹栖)を開設し、地域支援の拠点に
- 7月 「みらい(Mirai)」の定員変更(就労移行支援10名、就労継続支援B型15名)
- 10月 ケアホーム「つばさ」指定開始(定員3名)
日本財団より補助金の交付決定を受ける(ぴあふる岩山整備)

平成20年(2008年)

- 2月 「みらい(Mirai)」でクッキー工房を増設
- 4月 「ぴあふる岩山」指定開始(生活介護26名、就労継続支援A型14名、日中一時支援事業10名)
「旭川ヒューマンサービスセンター」定員変更(生活介護14名、就労移行支援8名)
ケアホーム「あいる」を移転し定員を8名に増員
- 6月 日本財団より補助金の交付決定を受ける(旭川ヒューマンサービスセンター移転整備)
- 10月 ぴあふる岩山 単独型短期入所事業 開始(定員1名)
- 12月 ケアホーム「ういず」の定員を5名に増員



短期入所「モッチーズハウス」



移転後の「旭川ヒューマンサービスセンター」

「鷹栖地域支援センター」・
ケアホーム「とも」「総合地域支援センター」・
ケアホーム「そら」

ケアホーム「あゆむ」



ケアホーム「つばさ」



ケアホーム「つむぎ」



「ぴあふる岩山」



「とわ北斗」



「みらい(Mirai)」クッキー工房



ケアホーム「あいる」

平成21年(2009年)

- 1月 「旭川ヒューマンサービスセンター」を流通団地へ移転し
「大雪の園」より地域支援事業を移管する
- 4月 ケアホーム「つばさ」の定員を4名に増員
「みらい(Mirai)」の定員変更(生活介護9名、就労継続支援B型11名)

平成22年(2010年)

- 4月 地域支援事業「総合地域支援センター」を永山に開設し、単独事業所となる
ケアホーム「そら」を併設し指定開始(定員5名)
「旭川ヒューマンサービスセンター」の定員変更(生活介護15名、就労継続支援B型15名、就労移行支援10名)

平成23年(2011年)

- 4月 ケアホーム「あゆむ」指定開始(定員4名)
地域支援事業を「恵風」「光風」「春風」の3事業体制に再編する
「恵風」(「そら」「ういず」「はるか」「あすか」)
「光風」(「あゆむ」「えぶり」「あいる」「つばさ」)
「春風」(「とも」「うらら」「デュエット」「さくら」)
- 10月 「柏の里デイセンター」で同行援護事業を開始

平成24年(2012年)

- 4月 「旭川ヒューマンサービスセンター」の定員変更(生活介護15名、就労継続支援B型19名、就労移行支援6名)
ケアホーム「うらら」を「つむぎ」に移転し定員を8名に増員
「うらら」は廃止
- 7月 鷹栖町より補助金の交付決定を受ける(とわ北斗整備)
- 9月 北海道より基盤整備事業の交付決定を受ける(とわ北斗整備)
北海道より基盤整備事業の交付決定を受ける(そらスプリンクラー整備)
- 11月 「とわ北斗」指定開始(生活介護10名、就労継続支援B型10名、日中一時支援5名)
- 12月 「ぴあふる岩山」で特定相談支援事業指定開始

平成25年(2013年)

- 3月 「春風」で特定相談支援事業指定開始
- 4月 「旭川ヒューマンサービスセンター」の就労移行支援事業を廃止し定員変更(生活介護20名、就労継続支援B型20名)
「柏の里デイセンター」の定員変更(生活介護30名、就労継続支援B型10名)
グループホーム「ひびき」指定開始(定員6名)
- 5月 「とわ北斗」の定員変更(生活介護20名、就労継続支援B型20名)
「旭川ヒューマンサービスセンター」と「恵風」で特定相談支援事業指定開始
- 6月 JKAより補助金の助成決定を受ける(大雪の園 屋上・外壁改修整備)
- 7月 グループホーム「つばさ」の定員を6名に増員

平成26年(2014年)

- 3月 北海道よりスプリンクラー整備事業の交付決定を受ける(ひびき、つむぎ、あゆむ整備)
- 6月 鷹栖町より「柏の里デイセンター」の建物の無償譲渡を受ける
- 10月 鷹栖町より補助金の助成決定を受ける(柏の里デイセンター体育館整備) 工事完了
- 11月 北海道よりスプリンクラー整備事業の交付決定を受ける(デュエット、とも、あすか整備)

平成27年(2015年)

- 3月 「柏の里デイセンター」の地域活動支援事業を廃止
- 4月 地域支援事業を旭川圏「恵風」と鷹栖圏「春風」に分ける
「恵風」は「ぴあふる岩山」、「春風」は「大雪の園」が一体的に運営を開始し、「光風」は廃止する
相談支援事業「春風」が鷹栖町と障害者相談支援事業の委託契約を結ぶ
「恵風」の特定相談支援事業を休止

平成28年(2016年)

- 4月 「ぴあふる岩山」の特定相談支援事業を休止し、就労継続支援A型事業を「旭川ヒューマンサービスセンター」に移管
「旭川ヒューマンサービスセンター」の定員変更(生活介護20名、就労継続支援A型20名、就労継続支援B型20名)
- 12月 グループホーム「はるか」を「こはる」に移転し定員を6名に増員 「はるか」は廃止
グループホーム「えぶり」を「ゆうわ」に移転し定員を7名に増員 「えぶり」は廃止



グループホーム「ひびき」


「チコリ」
移動販売


グループホーム「ひかり」



「柏の里デイセンター」体育館



短期入所棟「こびあ」



グループホーム「こはる」



グループホーム「さゆり」


LA BRILLER
2018


グループホーム「ゆうわ」



道路整備

平成29年(2017年)

- 4月 「柏の里デイセンター」の就労継続支援B型事業を休止、定員変更(生活介護40名)
「ぴあふる岩山」の定員変更(生活介護33名、日中一時5名)
- 9月 グループホーム「ひかり」指定開始(定員7名)

平成30年(2018年)

- 4月 相談支援事業所「春風」から「相談支援センター」に名称変更し、地域支援事業「春風」とともに単独事業所となる
「ぴあふる岩山」の定員変更(生活介護35名)
JKAより補助金の助成決定を受ける(グループホームさゆり整備)
- 9月 「柏の里デイセンター」の就労継続支援B型事業を廃止
- 11月 「ぴあふる岩山」の特定相談支援事業を廃止

平成31年(2019年)

- 2月 社会貢献事業として「チコリ」で移動販売を開始
- 3月 旭川市より補助事業の助成を受ける(ぴあふる岩山短期入所棟スプリンクラー整備)
- 4月 「みらい(Mirai)」の定員変更(生活介護10名、就労継続支援B型10名)
「ぴあふる岩山」の定員変更(生活介護40名)
グループホーム「さくら」を「さゆり」に移転し定員を6名に増員し「さくら」を廃止

令和元年(2019年)

- 7月 とわ北斗で初のワイン「LA BRILLER 2018」が完成
- 8月 鷹栖町南2条1丁目の土地内に町道が整備される

令和2年(2020年)

- 4月 地域支援事業「恵風」が、単独事業所となる
「旭川ヒューマンサービスセンター」の特定相談支援事業を休止
「相談支援センター」に一本化

大雪の園



●事業所について

私たちは、利用者の皆さんに、ごく普通の生活を地域の中で営んでもらえるようにと日々願い、30年間共に歩んできました。集団生活ではありますが「個」を大切に、常に普通の家庭での暮らしをイメージし、食べる、遊ぶこと、寝ること、活動することなど、日々の一つ一つを大切にしながら過ごしています。

事業所の概要

所在地：北海道上川郡鷹栖町18線9号2番地
電話：0166-87-3113
FAX：0166-87-3358
メール：fukutaka@aioros.ocn.ne.jp
敷地面積：13,635㎡
延床面積：1,398㎡
構造：鉄筋コンクリート造 平屋建
定員：施設入所40名・生活介護42名
就労継続支援B型18名・短期入所4名
開所日：平成3年4月1日

フラワーガーデン



花で囲まれた癒される施設に…そんな思いが詰まっています。二百種の花々が季節ごとに違った表情をみせてくれます。利用者や関係者・職員はもとより、一般の方々にも足を運んでいただき、沢山の笑顔を咲かせていきたいと思ひます。今後は花の苗や肥料、ソフトクリームの販売などにも挑戦していきます。

散策林



周りに広がる自然環境は、私たちにとってすばらしい財産の一つです。9町歩ほどある散策林にいくつもの散策コースを整備しました。利用者の皆さんは、森林の香りと木漏れ日を浴びながら毎日散歩しています。耳を傾ければ、風の音、鳥のさえずりも聞えてきます。

棟寮（おうちりょう）



開設日：平成15年11月 入居者：6名
連絡先：上川郡鷹栖町18線9号

平成15年に家族会の協力（寄付）を得て、一人の居室に居間と寝室が別々にあり、キッチン、風呂、トイレも付いている、「若者が一人暮らしするならこんな部屋に住みたい」と思えるような理想に近い入居棟（6名）を建設しました。
「棟（おうち）」とは香木として有名な桧（ひ）のこと。香り豊かな香木のように、個々の個性を大切にしたいとの思いを込めて名付けました。

豆腐料理の店「伝承館」



開設日：平成11年10月に移築復元（大正2年の建物）
連絡先：上川郡鷹栖町18線9号 TEL87-4446・FAX87-4476

大正初期に建てられた鷹栖町北野の旧山原邸の寄贈を受け、移築復元しました。石川県からの入植農家の邸宅（当時の豪邸）でした。ここでは、毎日手造り豆腐を製造しています。大豆にもこだわり十勝の「大袖振」を使用し、現在は地元の農家さんに栽培を委託しています。
伝承館では、豆腐料理を中心に提供しています。2,100円と3,600円のコース料理がおすすめで、豆腐づくしの豆腐会席コース（3,100円）も好評です。

地産地消の店「チコリ」 はびねす売店・レストラン



地産地消の店 チコリ
移転日：平成15年10月に現在の場所に移転
連絡先：上川郡鷹栖町南1条2丁目 TEL87-3455・FAX87-3453

現在の場所に移転を機に、地元の野菜などを委託販売方式で販売する地産地消の店として営業を開始しました。新鮮野菜の他、肉・魚・果物・飲料品などを販売しています。現在は法人全体の食材の仕入拠点としての機能も担っています。
はびねすの売店ではアイスやお菓子、ジュースなどを扱い、レストランでは定食の他、麺類・丼物・カレーなどをリーズナブルな価格で提供しています。

はびねす売店・レストラン
開設日：売店は平成11年11月に開設、レストランは平成18年4月から営業開始
連絡先：上川郡鷹栖町南1条3丁目 鷹栖町サンホールはびねす内 TEL87-2112

大雪の園 活動紹介



創作活動

毎月『壁掛けの大きなカレンダー』や『季節に応じた飾り』作りを行っています。出来た作品を壁に飾り、園内を賑やかに彩っています。

また、ボランティアの方と、ビーズを使った作品作りをしています。キーホルダーやブレスレットなど、色とりどりのカラフルな作品は、自分たちで身に着けておしゃれをしたり、イベント等での販売を通じて多くの方に楽しんでもらっています。



音楽活動

専門の講師を招いて、ピアノに合わせて歌を歌ったり、音楽に合わせてエアロビを行っています。

音楽好きな利用者がたくさん集っての活動は、いつも笑顔にあふれてとても賑やかです。

日ごろの活動の成果は、年に数回、手話歌を発表しています。エアロビも地元のお祭りで披露しています。多くの方々に見ていただける発表の機会を、みんなとても楽しみにしています。



絵画活動

専門の講師を招いて、絵画活動を行っています。利用者が自由に描く作品は、構成や色使いがどれも個性的でたくさんの魅力にあふれています。

完成した作品は、旭川市内の喫茶店への展示や、いろいろな事業所による合同の展示会の開催を通してたくさんの方々の目を楽しませています。作品をモチーフにしたエコバッグやトートバッグも作成しています。

大雪の園 活動紹介

健康維持・
リハビリ活動

ラジオ体操やストレッチ等の他、作業療法士に指導いただいた内容を参考にし、身体機能維持を目的とした活動を行っています。

レクリエーション的な要素を取り入れることで、楽しく、ゲーム感覚で体を動かしたり、チーム対抗の運動では仲間を応援する歓声にもぎやかに飛び交いながら、みんなで積極的に取り組んでいます。



散歩活動

9町歩ある散策林内にいくつもの散歩コースを整備しました。緑豊かな自然に満ち溢れたコースの散策は、炎天下の中でも涼しく、森林浴による癒しやリラックス効果もあります。また、起伏にもとんでおり、運動効果も抜群です。隣接している、フラワーガーデンを見ながらの散歩は格別です。

散策林を歩くことが難しい利用者の方は、園周辺の平坦な敷地を歩いて、日々の運動をしています。



食事提供

何と言っても利用者が一番楽しみにしているのが毎日の食事です。栄養をバランス良く摂ることも必要ですが、おいしく・楽しく・満足感のある食事提供を目指しています。

平日の昼食は、利用者には日替わり定食の他に、そば・うどん・ラーメンなどの麺類や牛丼・カレーなどの中から好きなものを選んで食べてもらっています。施設ではレストランメニュー方式と呼んでいます。サラダバーはおかわり自由で提供しています。

大雪の園の行事

TAISETU EVENT



4月 イオン外出



5月 観桜会



6月 環境整備 交流会



7月 流しソーメン



8月 海水浴外出



9月 ファミリーパーティ



10月 ハロウィンイベント



11月 のど自慢大会



12月 ホームパーティー



1月 新年会



2月 節分の日イベント



3月 歩くスキー

地産地消の店チコリ、はびねす売店・レストランの活動紹介

移動販売

チコリは小さな店ですが、地域の皆さんの要望に応じて宅配事業も行っています。地域の高齢化が進む中、「直接商品を見たい」との要望もあり、平成31年度から移動販売にも取り組みました。「日常生活の中でちょっとした困りごとを頼めるとありがたい」との声も聞こえてきますが、少しずつ要望に応じていけるようこれからも努力していきます。現在は、新型コロナの関係で移動販売は休止せざるを得ない状況ですが、一日も早く再開できるように準備しています。



利用者の作業の様子

チコリの利用者は、法人内の施設や鷹栖の学校給食、養護学校や保育園といった取引先の食材の振り分け作業を行っています。また店舗では、ラッピングなどの作業のほか、店舗の商品管理やお客様への販売も行っています。



お店に陳列する商品のラッピング作業



バックヤードでの配達商品の振り分け作業

鷹栖町「サンホールはびねす」内にある売店・レストランでは、定食の他麺類・丼物・カレーなど20種類のメニューを揃えています。お菓子類やアイスクリーム、飲み物などはお風呂上がりのお客様にも好評です。



はびねす売店レジ

職員の声

STAFF'S VOICE



職員 支援員 石川 奈実

私は、20歳で共生会に入職し、4年が経ちました。最初は福祉の知識や知的障がい者の知識が無い中で、右も左もわからずに仕事をしていました。2、3年目からは、研修にも多く参加させてもらい、昨年は『知的障がい援助専門員』の資格を取得し、少しずつ知識や技術を向上させることが出来て、嬉しく思います。

今は、新型コロナの影響で、外出・行事・旅行が無く、限られた生活になっていますが、園で、皆がわくわくするような活動を考えて、新型コロナを乗り越えていきたいと思います。今後も、利用者さんがより良い生活を送れるように、【きょうのいのち輝き 共に生きる】の理念を心に刻み、これからも支援していきます。



職員 支援員 鈴木 由衣

鷹栖共生会に勤め始めて早10年が経とうとしています。

短大1年生の施設見学で大雪の園へ来て、開放感溢れる園内で、利用者さんが生き生きと生活されている姿を見て「卒業後はぜひ大雪の園で働きたい」と強く思ったことが昨日のようです。

社会人として右も左もわからない1年目からこれまでに振り返ると、沢山の利用者さんの笑顔があります。つらい時も、苦しい時もありますが、そんな気持ちを救ってくれるのは利用者さんの存在です。利用者さんと生活を共にする中で【きょうのいのち輝き

共に生きる】を実感する毎日です。『常に利用者さんを中心に考える』ことを忘れずにこれからも利用者さんと共に歩んでいきたいと思っています。

職員の声

STAFF'S VOICE



職員 支援員 佐々木 陸

支援員として利用者さんと接し、職員の方々と仕事をさせていただいて1年半が経ちました。この期間は、長かったようで、あっという間にも感じた時間でした。

私は常に、『利用者さん第一の支援』をコンセプトに、仕事に取り組んできました。しかし、1年半が経過した今は、さらに、メリハリが必要だと感じています。昨年度の私は、利用者のみなさんが苦手なことではなく、得意なことに取り組んでもらっていましたが、さらにそこから、得意な事を伸ばして、増やしていこうということまで考えていませんでした。

しかし、これからは、利用者さんがより暮らしやすく、少しでも自分で出来る事が多くなってもらえるような支援を提供出来たらと思っています。



職員 支援員 金澤 武尊

鷹栖共生会に入職して、うまくいった思い出と、大変だった思い出のどちらが多かったかと言うと、圧倒的に大変だった思い出の方が多いです。だからこそ、利用者さんが出来なかったことが出来るようになったり、笑顔を見せてくれたりすることが、今でもとても尊く、かけがえないものに感じます。

楽しい時はともに喜び、苦しい時は寄り添い、良いことも悪いことも含めて、ともに経験していくことで、一緒に成長していきたいと思っています。そのためにも、利用者さんとの経験や思い出のひとつひとつを大切にしながら、一日一日が記憶に残る毎日を過ごしていきたいです。

旭川ヒューマンサービスセンター



●事業所について

旭川ヒューマンサービスセンターは、鷹栖共生会で2番目の施設として平成7年5月1日に開設し、今年で25年目を迎えました。開設当初は通所授産施設からスタートしましたが、現在は、多機能型事業所として生活介護事業、就労継続支援B型事業、就労継続支援A型事業、日中一時支援事業、特定相談支援事業（休止中）の5つの事業を一体的に運営しています。流通団地という立地を生かして充実した日中活動や就労支援を提供し、生産活動を通して地域とのつながりを持ち、みなさんが社会参加できるよう支援しています。

事業所の概要

所在地：北海道旭川市流通団地2条3丁目44番地
 電話：0166-46-4774
 F A X：0166-46-4773
 E-mail：human-s@isis.ocn.ne.jp
 敷地面積：1,107.20㎡
 総床面積：1,459.06㎡
 構造：鉄筋コンクリート陸屋根3階建
 定員：生活介護20名
 就労継続支援A型20名
 就労継続支援B型20名
 日中一時支援5名
 開所日：平成7年5月1日
 移転改築：平成20年12月1日

事業案内

- 生活介護事業……………生産活動や芸術、創作活動、体力づくり等、個々の特性に合わせた日中活動を通して、ひとりひとりがその人らしく、充実した毎日を送れるよう支援します。
- 就労継続支援A型事業……雇用契約に基づき、就労の機会を提供しながら生産活動にかかる知識及び能力の向上、必要な技術の習得ができるよう支援し、社会参加や地域での生活の実現を目指します。
- 就労継続支援B型事業……生産活動を通して必要な知識及び能力の向上を図り、充実した日常生活を送ることができるよう支援します。
- 日中一時支援事業…………障がいのある方の日中における活動の場の確保とともに、ご家族の緊急時支援と一時的な休息を目的に、見守りや集団生活に適應するための支援をするものです。
- 特定相談支援事業…………〔休止中〕

地域との関わり

新旭川・永山南地域包括支援センターと共催で、年に1回地域でのイベントを開催し、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指して地域住民の方々と交流を深めています。

昨年は「注文を間違える喫茶店〜きづなカフェ〜」を開催。今年は「きづな・ほのぼのバザー」を開催しています。共生社会の実現に向けて、今後も活動が続けていきます。



活動内容

ランドリー科

平成22年4月より、作業と療育的活動を提供することを目的として開始。洗濯の請負作業やその他の軽作業に加え、絵画や工芸などの創作活動、体力づくりなど利用者一人一人に合わせた活動を支援しています。



レストラン科

平成20年の移転に伴い、施設の食堂をレストランとして一般のお客様にも開放し、地域の人達との交流を深めつつ就労の機会を提供することを目的として始めました。近郊に限りお弁当配達も実施しています。



活動内容

クリーニング科

平成5年に小規模作業所として、当時の旭川すずらん作業所の工場を全て移管して開始しました。貸しおしぼりのクリーニングや玄関マットのクリーニング、タオル等のクリーニング作業を行っています。



実習科

平成8年より開始。施設外の実習先での日常清掃や洗濯業務、リサイクル分別作業等の作業を中心に、就労の訓練や作業研修を行っています。現在は4ヶ所の施設外就労へ行っています。



清掃科

平成7年4月に全国の福祉施設としては初めての「建築物清掃業」の資格を取得し、専門的な清掃のプロとして作業を開始。官公庁や一般企業などから定期清掃や日常清掃の清掃業務委託を受け、清掃業務を行っています。全員雇用契約を結んでいます。



活動のあゆみ

HISTORY OF ACTIVITIES



入所式



特別賞授与式



美容講座

春



パークゴルフ大会



センター交流会



一泊旅行



センター交流会



レストラン出店

夏



どっきゅん！銀座祭り



フラワーフェスティバル



たくけんウォーク

秋



北海道ハンディキャップ水泳大会



スポーツ交流会



びあすてーじ



就労勉強会



みんなあーと

冬



自治会運動会



ホームパーティー



新成人・還暦を祝う会



もちつき



歩くスキー

職員・利用者の声

職員 支援係長 吉田 沙織



鷹栖共生会に入職した当初は「すずらん作業所」（現みらい）でパン作り等を利用者の方々と一緒に行っていました。5時半勤務の冬の朝は、暗い内からパンとにらめっこ。上手にふんわり焼けたメロンパンを見て先輩職員に褒められたり、パンの成型が上手く出来ると「成型美人」になれることも…

4年後「ヒューマンサービスセンター」へ異動。就労B型や生活介護の担当を歩き来しながら、結婚・出産を経て気が付くと19年目になっていました。利用者の方々と一緒に「はたらく」現場で支援業務に携わり、障がいのある・なしに関わらず「働く事」について学ぶ機会もたくさんありました。どんな仕事も「挨拶」や「休まない事」など大事な事はありますが、楽しみがないと続かないのではないのでしょうか。

これからも利用者の方々が楽しんでセンターに通所出来るよう、支援する側の私達も一緒に楽しみをみつけながら業務にあたっていきたいと思っています。

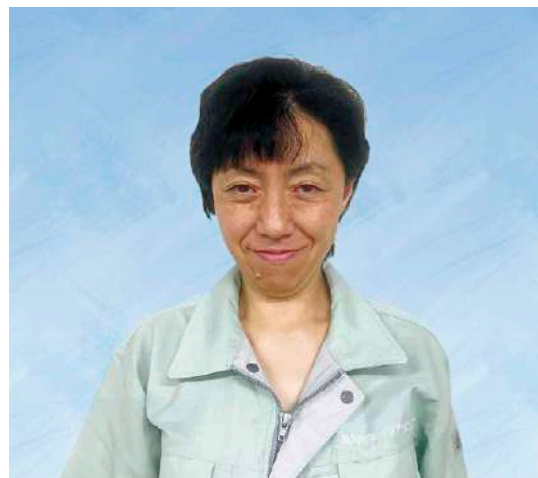
職員 支援係長 鈴木 貴文



鷹栖共生会に入職して、7年の歳月が流れました。清掃科の利用者さんと一緒に沢山の現場先で清掃を行ってきました。利用者さんの成長を身近で感じることが出来る、とてもやりがいのある仕事だと思います。

これからも鷹栖共生会の利用者さんと一緒に自分自身も成長をし、仕事を全うしていきたいと思っています。

利用者 クリーニング科 上西 早苗さん



鷹栖共生会30周年おめでとうございます！
ミーは19歳の時、大雪の園へ入所しました。
その上、24歳の時、旭川ヒューマンサービスセンターへ入所し、同じくケアホーム「あすか」へ入居しました。来年4月1日「あすか」開設25周年を迎えます。ご期待下さい。

今を生きるしかありません。



Kashiwa 柏の里デイセンター



●事業所について

柏の里デイセンターは、100年の歴史を紡いできた「鷹栖中央小学校」の閉校に伴い地域の方々をはじめ多くの方々のご理解とご協力の下、平成16年1月1日に指定障害福祉サービス事業所「柏の里デイセンター」として誕生しました。

「柏の里」は鷹栖中央小学校のシンボルでもあった校舎前の大きな柏の木に由来し、当時児童たちは「柏台っ子」として中央地区に元気をもたらせてくれました。

私たちは大自然と心豊かなこの鷹栖中央地区で良き風土を大事にしながら、法人理念である「きょうのいのち輝き 共に生きる」を胸に、地域の方々と一緒に安心して暮らせる地域づくりに日々邁進しています。

事業所の概要

所在地：北海道上川郡鷹栖町17線12号
電話：0166-87-4573
FAX：0166-87-4592
E-mail：kasiwanosato@vesta.ocn.ne.jp
敷地面積：12,532㎡
延床面積：784.71㎡
構造：鉄筋コンクリート造2階建
定員：生活介護40名
日中一時支援10名
短期入所2名
訪問系サービス
開所日：平成16年1月1日

事業内容

柏の里デイセンターは生活介護定員40名のほか訪問系サービスや日中一時支援、短期入所事業と多岐に渡り事業運営しています。利用者の方々の生活が「24時間365日」絶え間なくより豊かで充実したものとなるよう様々なサービスの提供と各種関係機関との連携に努めています。

また、一人ひとりの個性と可能性を発揮すべく多様な活動の提供に努めるとともに、「自己選択」「自己決定」を大切にすることを心掛けています。



お茶教室(和菓子、抹茶を点てて)

柏の里の特色

柏の里デイセンターは、利用者の方々の高齢化に対して特化した活動科を設置するとともに、看護師をはじめ介護保険事業所や病院と連携しながら、日々介護予防に繋がる活動を提供しています。

また、地域の一員として元氣な地域づくりを目指し、年間のほとんどの行事は地域の方々と一緒に企画から運営しています。

更には法人の内外に問わず、障がいをお持ちの方々の人生や生活が、少しでも豊かなものとなるよう訪問系サービスの充実に努めております。

このように柏の里デイセンターは、利用者の方々をはじめ、ご家族や地域の方々も一緒に風通しの良い事業所づくりを実践しています。



看護師によるストレッチ体操活動



中央地区文化祭での南京玉簪

柏の里の取り組み

地域づくり

Action of Kashiwanosato



「NPO法人 柏の里」

地域に根差した事業所づくりは、「元気な中央地区」をモットーに、日々の活動や行事など地域住民の方々と立ち上げられた「NPO法人 柏の里」との連携から成り立っています。

「中央豊年祭り」「中央地区文化祭」など

年間行事の殆どは、柏の里デイセンター開設当時からこれまで地域の方々と一緒に企画運営しています。運動会、パークゴルフ大会、中央豊年祭り視察研修、文化祭などなど。盛り沢山です。

「事業所開放」

日々のレストランをはじめ、地域サークルや外部団体への体育館・事業所開放も積極的に行なっています。風通しの良い事業所作りを目指します。

「地域貢献活動」

地域の環境整備や鷹栖丸山パークゴルフ場軽食コーナーの運営に際しては、利用者の方々の実習先としても活用させていただいており、この中央地区が皆にとって「安心して暮らせる地域」となるべく同じ思いを胸に地域づくりを実践しています。



柏の里へ集まれ～！



地域の方々と餅つき



NPO法人柏の里の丸山PG場軽食コーナー

柏の里の取り組み

活動について

Action of Kashiwanosato



柏の里デイセンターの活動は、家族や地域、社会の“人”とのふれあいを大切に、利用者の方々一人ひとりの個性と可能性を発揮すべく様々な活動を展開しています。

後進国のワクチン変換の為のペットボトルキャップ分別納品活動やイオン子供ボールプールのボール洗浄納品活動などの社会貢献活動や、毎週の専門講師による絵画活動やエアロビクス、音楽療法、パソコン教室、更には高齢者施設を訪問しての共生型音楽活動、そして月に一度の家族交流の日などなど。

ここ鷹栖の大自然の中でみんなで四季を肌で感じながら、日々の活動を通じて地域づくりと人づくりを実践しています。

楽しさ溢れる「柏の里デイセンター」に是非遊びに来てください。



生け花教室



洗浄ボールをイオンへ納品



家族交流の日(ケーキ作り)



歩くスキー活動

柏の里の行事

KASHIWA NO SATO EVENT



1月 鷹栖雪ん子隊
雪上綱引き！



1月 新年会 新成人を祝う会
新年初笑い！



2月 中央地区文化祭
手話コーラスを披露！



6月 中央地区運動会
お願い、入って！



8月 中央豊年祭り 盆踊り
盆踊りの生演奏！



9月 収穫祭
さつまいも収穫！

職員の声



STAFF'S VOICE



職員 ヘルパー 松本 真理子

十数年前初めて利用者の方々と接した時の“ほんわり”と心が温まる様な感じを、今も変わらず感じていることに幸せと感謝の気持ちでいっぱいです。

日々、私が皆さんから元気をもらっています。これからも一緒に過ごさせて下さい。

ありがとうございます。

私が元気をもらっています！



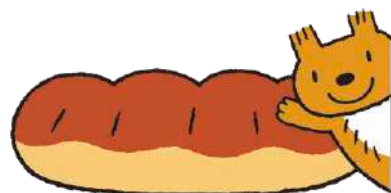
職員 支援員 佐藤 怜奈

正直難しいなって思うことも多々ありますが、それ以上に楽しさもいっぱいあり、自然と笑顔が零れる仕事です。

これからも利用者の方々とご家族、地域の方々や仲間の皆さんに支えられながら、法人理念の「きょうのいのち輝き 共に生きる」を胸に一生懸命頑張ります。

自然と笑顔が零れる仕事です！

みらい (Mirai)



事業所の概要

所在地：北海道旭川市台場2条5丁目5-2
 電話：0166-63-8177
 F A X：0166-63-8187
 E-mail：mirai-fukutaka@sunny.ocn.ne.jp
 敷地面積：406㎡
 延床面積：427.38㎡
 構造：鉄筋コンクリート造3階建
 利用定員：生活介護10名
 就労継続支援B型10名
 日中一時支援5名
 開所日：平成19年4月1日

●事業所について

「みらい (Mirai)」は、平成18年に旭川市の末広から（現）台場へ移転しました。前身であった旭川すずらん作業所、旭川ヒューマンサービスセンターの分場としての運営を経て平成19年4月に単独の施設となりました。パンの製造販売を主たる事業内容としてきましたが、台場に移転後は喫茶店を営業し、更にお菓子工場を増設。製造したパンやお菓子をお店で食べていただけるようになりました。地域のお店として地域住民や学校などからもご利用していただいております。また、市内の保育所や幼稚園、学校や施設など幅広く注文もいただき、利用者の社会参加の場としても重要になっています。

事業案内

障害福祉サービス

- 生活介護事業……………生産活動や、創作活動等を通じて、生活リズムや情緒の安定を図り、充実感が感じられるよう支援します。
- 就労継続支援B型事業……………生産活動を通して、就労の必要性や達成感を感じられるよう支援します。また、コミュニケーションや他者への思いやりなど社会性が高められるよう支援します。
- 日中一時支援事業……………みらい (Mirai) で実施している活動の説明をおこないます。屋内の見学や、体験なども行うことが出来ます。過ごし方は自由で、見守り支援が基本です。

施設の特徴

- パンやお菓子を中心とした製造販売、来店した方の接客をおこなっています。それぞれの部門に分かれ利用者と専門技術を持った支援員が作った商品を配達します。また、配達だけではなくイベントや地域行事などで販売させていただく機会もあり、障がいの啓蒙活動と社会性を高める機会がごく当たり前に、日常の活動で感じる事が出来ます。

授産事業・地域活動

- 授産事業……………道産の食材を中心に扱い、一般のお客様から来た注文を職員と利用者で商品製造にあたっています。
- 地域活動……………地域の町内会行事の参加や出店をおこないお祭りの賑わいなど相互協力をおこなっています。地域の小学校の見学授業など交流の場を設けることで、障がいについての理解を深めてもらう場にもなっています。

活動内容

ベーカリー科

「パン製造」をおこない、商品の「配達作業」「イベント」「外販」での販売活動に取り組んでいます。



作業は工程を分担し製造



皆で作ったみらいの商品を販売



皆で日々作るお店のパン



美味しく焼けたかな？



店舗や納品先のパン製造

活動内容

菓子科

お菓子の製造、配達作業、イベント、外販での販売活動をおこなっています。季節に応じた企画製造や注文販売をおこなっています。



期間限定Xmasケーキ



人気のプリン



レシピを見ながら作業分担



イベント販売中にあさっぴーと



日頃の作業もチームワークで



感謝祭の限定商品



注文多く大忙し

菓子科(パッケージ)

焼成されたクッキーやラスクのパッケージングを行い、シールを貼り付け商品を完成させる作業を行います。



お店に並ぶ商品



↑↓種類に合わせ皆で袋詰め



商品を手早くシーラー作業



大量のクッキー詰めも皆で協力



活動内容

喫茶科・調理

お店に商品を買いに来てくれた方の接客を行います。商品の袋詰めや、コーヒーを淹れお客様へ提供します。また、スタッフの食事作りも行います。



お店の奥で裏方作業



接客も分担して対応



並んだ商品の数をチェック



イベント限定の人気商品



店舗の定期イベント広告



大人数の食事準備に大忙し



「おいしくなれ」

販売会

町内会や外部のイベントへ出かけ、商品を販売しています。お客様直接商品を渡し、言葉をかわすことができる、充実感を得られる活動です。



旭川駅マルシェ



リバータウンバザール

家族交流会

毎年行われる販売会では、売り子として、利用者・職員と共に販売にあたってもらっています。他には年1回見学会を企画し、法人内・外の事業所見学に行っています。



「おびった」で懇談会



外部見学会

みらい(Mirai)の行事

MIRAI EVENT



みらい交流会 年度初めに焼肉で交流



余暇活動 連続ストライク！



日帰り旅行 博物館にて「コレ恐竜？」



一泊旅行 伊達時代村で記念撮影



余暇活動 皆でカラオケへ



フラワーファミリー 大雪の園と合同で手話歌発表



絵画活動 思い思いの絵で自己表現



ホームパーティー サンタが来てプレゼント交換中

職員・利用者の声



利用者 石川 敬司(左) **支援員** 岡村 聡一郎(右)

職員3名と利用者5名で毎日お店に並べるパンと外販のパンを一生懸命作っています。焼き窯の放つ熱で真夏は冷房を付けなければとても過酷な環境での製造作業ではありますが、利用者の皆さんも職員と協力しながら製造に励んでいます。レシピにのっとりながらも利用者それぞれがそれぞれの個性や持ち味を商品1つ1つに込め『今日は上手にできたよ。』とか『今日の食パン綺麗ですね！』など自分たちが手にかけた商品を愛でる姿はとても輝いてるように見えます。これからも美味しいと思ってもらえるパンを全員で作るべく邁進していきます。



利用者 吉岡 咲(左) **支援員** 納 優芽(右)

「計算とレジが一番得意。パンの袋詰めも頑張っているよ」喫茶で一番好きな作業は何か聞くと、吉岡さんは少し考えた後にそう答えました。いつも「みらいのお仕事が好き」と話す吉岡さんは、お客様へのウエイトレス業務にも積極的に取り組み、みらいの看板娘のような存在とも言えます。そして喫茶科のメンバーと助け合いながら、毎日明るくお客様をお迎えしています。『ずっとみらいで仕事をしたい』と言ってもらえる事業所を目指し、私たち職員も日々学び成長し続けていきたいと思っています。



利用者 佐藤 綾音(左) **支援員** 高森 芳子(右)

休憩時間は利用者さんからトランプやunoに誘われゲームをして過したり、季節感を感じてもらうために職員が下準備した飾り物などに、絵やコメントを入れてもらい一緒に作って完成させたりと楽しい時間を過ごしています。また、いろいろな会話をしていますが、時には悩み事を聞いたり、相談を受けることもあります。考えさせられること、気づかされることがたくさんあります。これからも利用者さんとたくさんの思い出を作りながら共に歩み良い関係づくりをしていきたいです。

ぴあふる岩山



●事業所について

「ぴあふる岩山」は平成18年3月に閉校した「旭川市立旭川第4小学校」の校舎を改装し、平成20年4月1日に定員40名の障害福祉サービス事業所として開設しました。

事業所名は「ぴあ=Peer(人)」、「ふる=Full(満ち溢れる)」、「岩山=地域のシンボル甘水山の通称」となっており、地域の中心で沢山の人が集い笑顔で満ち溢れるような場所という願いを込め命名しました。

事業所の概要

所在地：北海道旭川市東旭川町豊田296番の1
 電話：0166-76-2112
 F A X：0166-76-3003
 E-mail：piafull@ec4.technowave.ne.jp
 敷地面積：13,635㎡
 延床面積：1,398㎡
 構造：鉄筋コンクリート造2階建
 定員：生活介護40名 短期入所1名
 日中一時支援5名
 開所日：平成20年4月1日

事業案内

生活介護事業を中心に短期入所事業、日中一時支援事業を実施しています。

利用者が個々の人格を尊重し、障がいの状態や能力に応じた活動を通じ、自己選択、自己決定が守られ、人間性を高め、働く喜び、生きる喜びが体得でき、地域の一員として普通の生活ができるよう取り組んでいます。

ぴあふる岩山の特色

社会福祉法人の使命でもある地域に根差した活動を行なう為、地元、豊田地区市民委員会や老人会、社協、地域包括などと連携しながら、地域住民向けに介護予防等の保健福祉活動や地域サロン「いきいきプラザ」等の各種活動、合同行事を積極的に実施し、地域に寄与するとともに、支えあう地域づくりの具現化に努めています。



いきいきプラザ「書初め」



グラウンドにて地域住民と一緒に掲げる鯉のぼり

ぴあふる岩山の取り組み

提供サービス

Action of Peerfull Iwayama

生活介護事業

近郊にある一般企業等から内職等軽作業の委託を受け作業に取り組んだり、和紙作り、機織り等の生産活動を軸にサービス提供しています。

余暇活動や地域交流にも力を入れ、メリハリを持った充実した日々を過ごせるような日課を提供しています。

短期入所事業

本体施設に隣接する短期入所棟「こびあ」にて、夜間帯の宿泊体験や緊急的な宿泊、レスパイトを目的として受け入れを行なっています。

日中一時支援事業

日中における体験利用や一時預かりを目的に、創作活動や各種体験活動等を提供しています。



請負内職作業の様子



短期入所棟「こびあ」



楽しくおやつ作り



一泊旅行の様子

ぴあふる岩山の取り組み

地域づくり

Action of Peerfull Iwayama

ぴあふる岩山運営委員会

開設よりぴあふる岩山運営委員会を地域住民の方と職員で立ち上げ、活気ある地域づくりに向け話し合い、寄席や音楽鑑賞会、居酒屋等を開催しています。

豊田三大行事

豊田地区市民委員会、ぴあふる岩山、ぴあふる岩山運営委員会合同で「いなかにばる（6月）」「収穫感謝祭（10月）」「新年もちつき交流会並びに成人を祝う会（1月）」を盛大に開催しています。

各団体とも連携

豊田地区市民委員会、ぴあふる岩山運営委員会、豊田地区社会福祉協議会、東旭川・千代田地域包括支援センター、豊田八幡神社委員会等とも連携し、介護予防教室やパークゴルフ大会等を企画・実施しています。

いきいきプラザ

月に1回、地域住民や利用者のご家族へ呼びかけ、一緒にモノづくりや健康講話など生涯学習の場、保健福祉活動として交流の場、地域活性の場として実施しています。

冬場の健康づくり

冬季間の運動不足解消の為に地域住民に呼びかけ、ヨガやふまねつとを夜間に開放して実施しています。

事業所開放

地域住民の方へ無料開放し、太鼓や大正琴の団体や地域婦人部、老人会等が活動の場として利用していただいています。

地域貢献活動

独居老人の方を中心に配食サービスを実施しています。また、希望者のお宅の冬季除雪を実施しています。

レストラン

昼食の提供を行なっています。



居酒屋



三大行事「いなかにばる」



いきいきプラザ「チョークアート」



冬場の健康づくり「ヨガ」



豊田ふるさと太鼓の皆さん

ぴあふる岩山の行事

PEERFULL EVENT



4月

入所式・皆勤賞特別賞授与式
皆さん宜しくお願いします



5月

ジャガイモの定植
学生ボランティアと一緒に



6月

地域合同行事「いなかにばる」
白組の勝ち～



7月

一泊旅行
マイクロバスでワイワイ



8月

アスレチック外出
完全制覇するワ！



9月

避難訓練・非常食体験
非常食だけど味は侮れない！！

ぴあふる岩山の行事

PEERFULL EVENT



10月 収穫感謝祭
最後はゲームで大盛り上がり



11月 健康教室
インフルエンザに負けないぞ!



12月 ホームパーティー
恒例ビンゴ大会で大はしゃぎ



1月 新年もちつき交流会並びに成人を祝う会
ヨイッショ!



2月 余暇外出
童心にかえて楽しいネ



3月 ミニ運動会
優勝目指して、エイエイオー

職員・利用者の声

EVERYONE'S VOICE



職員 佐藤 瞳

大学を卒業してから今年で社会人3年目になりました。入職の頃は、何も分からず先輩方に教えていただいた事を覚えるのに必死でした。

今では自分1人で行なう業務も増え、色々な刺激を受けながら、やりがいを感じています。利用者さんとのかわりの中で考えさせられることも多く、今以上により良い支援を提供出来るようにと考えています。

今後も利用者さんと楽しい思い出を作り、「明日もぴあふるに行きたい!」と思われるような支援を目指していきたいと思います。

色々な刺激を受けながらやりがいを感じています



職員 宮本 優太

専門学校を卒業後入社し、5年が経ちました。初めての職場で経験もなく、先輩職員から助言を受けることも沢山ありましたが、助けられる事の方が多く、様々なことを学ぶ事が出来ました。

今、少しずつではありますが、自分の考えで行動出来るようになりました。支援していく中で日々やりがいを感じています。

利用者の笑顔が見られることが嬉しく、努力を重ねてこれからも頑張っていきたいと思います。

利用者の方々とのつながりを大切に



利用者 利用者 小葉松 一博さん

鷹栖共生会30周年おめでとうございます。

今までで楽しかったことは、10周年記念の時に行ったディズニーランドです。ディズニーランドでは、船に乗って夜のシンデレラ城を観ました。

これからも、ぴあふるで運動や作業を頑張りたいです。

ぴあふるは楽しいところ

とわ北斗

とわ北斗



●事業所について

「とわ北斗」は、平成13年度に閉校した旧北斗小学校を改修し、平成24年11月に鷹栖共生会7番目の施設として開設しました。「とわ北斗」の名称の由来は、旧北斗小学校の歌詞に出てくる「常盤（ときわ）」を意味する「永久（とわ）」と、北斗地区の「北斗」を組み合わせで名付けました。「北斗の地域で皆が仲良く、永遠に栄えますように」という願いが込められています。

事業所の概要

所在地：北海道上川郡鷹栖町14線17号
電話：0166-87-5630
FAX：0166-87-5631
E-mail：towahokuto@iaa.itkeeper.ne.jp
敷地面積：10490.79㎡
建築面積：1469㎡
延床面積：2227.56㎡
構造：鉄筋コンクリート造2階建
定員：生活介護20名
就労継続支援B型20名
日中一時支援5名
開所日：平成24年11月1日

事業案内

福祉サービス

- 生活介護事業……………生産活動を通じて、作業意欲や基本的な作業能力の向上を図るとともに、充実感や達成感が感じられるよう支援します。
- 就労継続支援B型事業……生産活動を通じて、必要な知識、能力、社会性などを高められるよう支援します。
- 日中一時支援事業……………障がいのある方が一時的に施設を利用する事業です。施設体験目的の利用や学生の長期休暇中の利用も可能です。
- 余暇活動……………週末や祝日を中心に、外出やイベント開催、地域行事への参加などを行ない、社会性を高められるよう支援します。

授産事業・地域活動

- 授産事業……………家具の再生展示販売、売店・レストラン運営、独居高齢者配食や小中学校の米飯製造、ぶどう園の観光農園化などを通じて、地域貢献や地域活性化の力になれるよう努力しています。
- 地域活動……………行事やイベントへの出店、「とわサロン」などの活動を通じて地域交流を図っています。

活動内容

農 業

平成24年にロッキード跡地（約10ha）を購入し、ジュース用トマト、ワイン用ぶどうの栽培をしています。将来は、ワイナリー、ハーブガーデン、遊歩道などを整備し、人の集う観光農園を目指しています。



再生工房

不要になった家具・古民具を無料で引き取り、修理や塗装をして、旧体育館で展示販売しています。また、家具の修理の請負や廃材を利用したオリジナル商品の制作等も行なっています。



活動内容

食生活

● レストラン「さん・さん」

豊富でボリュームのあるメニューと手ごろな価格設定で、地域の方々を含め多くのお客様で賑わっています。



● 売店「あしかけ」

道の駅をイメージした売店は、地元の製品・特産品や法人内施設の授産製品を取り揃え、地域の魅力を発信しています。雑貨や菓子類も充実しており、地域の方々や利用者の方々にも広く利用して頂いています。



● 配食事業

法人内グループホームの配食、鷹栖町内の独居高齢者の弁当宅配、小中学校の米飯製造など行なっています。



リサイクル

鷹栖町が運営するリサイクルセンターで町内から排出されたりサイクルゴミの再資源化事業の委託作業を行なっています。



とわ北斗の取り組み

地域づくり

Action of Towahokuto

地域行事

北斗地区盆踊り、北斗地区文化祭・芸能発表会、サマーフェスタなどの地域行事に参加させて頂いています。

文化祭のステージ発表では職員が毎年パフォーマンスを披露しています。



北斗地区文化祭・芸能発表会

とわサロン

地域の方々を対象に、地域交流スペース「やちほ」を活用して、お菓子作りや創作活動を中心に、毎月開催しています。

「やちほ」は外部に開放しており、地域の方々の会合や研修などで利用されています。



クラフト製作

地域貢献活動

高齢者配食は、鷹栖町社会福祉協議会の委託を受けて実施している事業です。町内の独居高齢者の方々を対象に、栄養バランスの取れた食事を提供し、宅配時には声掛け・安否確認を行なっています。

家族ボランティア

とわ北斗家族会活動の一環として、トマト苗の定植やトマトジュース加工などのボランティアをして頂いています。

ボランティアを通して、ご家族と交流を深めています。



訪問配達の様子



トマト苗定植

施設行事・余暇活動

EVENT AND LEISURE ACTIVITIES

春



北斗交流会

夏



利用者親睦旅行

秋



収穫祭(収穫体験)



北斗地区豊年祭



サマーフェスタ



スポーツ交流会



忘年会



お疲れ様会

冬



新年会(もちつき)



新成人を祝う会

職員・利用者の声

EVERYONE'S VOICE



利用者 再生工房 岡田凌多さん

とわ北斗で嬉しかったことは、話せる利用者が増えたことです。楽しかったことは、旅行で登別マリパークに行ったことです。将来は一般就労を目指しているので、今は運搬作業で周りをみて行動できるよう頑張っています。



利用者 リサイクル 佐藤芳高さん

鷹栖共生会30周年おめでとうございます。僕は今、リサイクル科でペットボトル、空き瓶、空き缶の選別作業を頑張っています。これからの目標は、アフター5の太鼓の練習を続けて、発表会で上手に叩けるようになることです。



職員 支援員 岸田真志

入社してから2週間ほど賃貸が空かず、グループホームで寝泊まりさせていただいたのは私が初めてではないでしょうか？そんな私も鷹栖共生会で働かせていただき10年が過ぎました。

グループホームで8年、とわ北斗で2年支援員を務めさせていただき、利用者の方の生活と職場の双方から個人を知る機会を得ることができました。

日々の支援では、利用者の方々と一緒に過ごす中で、些細な変化に気づき、サインを見逃さないよう、周囲と連携しながら関わるよう心掛けています。

偉そうなことは言えませんが、10年の中で自分が得た経験を他のスタッフと共有してよりよい支援ができるよう、これからも共に歩んでいきたいと思っています。

恵 風 <旭川地域支援センター・グループホームそら>



事業所の概要

所在地：北海道旭川市永山2条20丁目8-11
 電話：0166-74-6301
 F A X：0166-74-6302
 E-mail：a.center@eagle.ocn.ne.jp
 定 員：共同生活援助64名（令和2年4月現在）
 開 所 日：平成23年4月1日
 グループホーム数：旭川市内10か所

●事業所について

旭川市内に10か所グループホームがあり、それぞれで地域生活を送っています。また、余暇や記念日のお祝い等も企画し、豊かで充実した生活を送れるよう取り組んでいます。

イベント風景



グループホーム
ひびき



グループホーム
ういず



グループホーム
つむぎ



グループホーム
こはる



グループホーム
ゆうわ



グループホーム
ひかり



グループホーム
あゆむ



グループホーム
あいる



グループホーム
つばさ



春風

●事業所について

春風ではグループホーム（とも・あすか・さゆり・デュエットA・デュエットB）があり、利用者の日常生活を楽しく元気に過ごしていただくために、生活全般の支援を世話人・生活支援員が行なっています。

事業所の概要

所在地：北海道上川郡鷹栖町南1条2丁目1-16 地域支援センター
電話：0166-49-0294
FAX：0166-49-0295
定員：共同生活援助22名
開所日：平成23年4月1日
グループホーム数：鷹栖町内5か所

グループホーム と も ＜地域支援センター＞



グループホーム あすか



グループホーム デュエットA・デュエットB



グループホーム さゆり

平成31年にグループホーム「さくら」を廃止し、同年グループホーム「さゆり」を新たに開所しました。



日常風景



春風では利用者様に楽しく元気に過ごしていただくために、イベント、食事会などを企画し実施しています。

相談支援センター



●事業所について

平成25年3月に特定相談の指定を受け、大雪の園の一部署として相談支援事業所「春風」を開設しています。始まった当初は入所施設を中心に計画を立てていましたが、平成27年4月に児童の障害児相談支援の指定を受け、鷹栖町より相談支援事業所としての委託を受けると、法人の利用者を中心に多くの方の計画を作成するようになっていきます。

初めは「春風」という名も「計画相談」と言う言葉も知られておらず、家庭訪問時には「春風亭さん」と名前を間違われることもありましたが。平成30年より大雪の園から独立し、事業所名も「相談支援センター」に変わっています。現在では児童と者を合わせると400名を超える方たちの計画を作成しています。

事業所の概要

所在地：北海道上川郡鷹栖町南1条2丁目1-16 地域支援センター内
電話：0166-49-0294
FAX：0166-49-0295
E-mail：chiikishien@ia7.itkeeper.ne.jp
開所日：平成25年3月1日
事業内容：計画相談支援・障害児相談支援



法人アンサンブル

法人アンサンブルは、法人設立10周年を契機に、法人の象徴の一つとして設立されました。

音楽の出来る方たちが集まり、より上の活動を目指し演奏技術を高めていくことを目的に続けてきました。初代音楽講師の守田先生から始まり、現在は笠原講師の許で練習を重ねています。各事業所での練習が毎月2回、全体練習を毎月1回行ってきました。今年度は新型コロナ禍のため活動が中断していますが、また再開できる日を楽しみにしています。



毎年4月の全体練習で新曲を決めてきました。

レパートリーは「翼をください」「夜空ノムコウ」
「聖者の行進」「踊るポンポコリン」「ミッキーマウスマーチ」
「オブラディオブラダ」「よろこびのうた」「明日があるさ」他 ♪♪♪



発表の機会は、「鷹栖町 福祉のつどい」「ぴあ・すてーじ」「鷹栖町 町民文化祭」、そして、北海道知的障がい福祉協会主催「みんなアート」（札幌市で開催）にも平成28年から出演しています。毎年「賞」を頂くまでになりました。一人ひとりが輝く瞬間があります。緊張した表情から、演奏を終えたときのやり切った感溢れる表情。沢山の方から「良かったヨ」「がんばったね～」と言葉を掛けられたときの嬉しそうな表情！！一人ひとりが自己実現を目指し、みんなで作り上げる過程にそれぞれのドラマがあります。そんなドラマを間近で感じられる時間は職員にとっても「宝物」です。



札幌市で開催「みんな・あーと」



出演者が舞台上がり感動のフィナーレ



鷹栖共生会創立10周年記念式典



大雪の園+みらい=フラワーファミリー

毎年開催される「ぴあ・すてーじ」で手話歌を発表しています。大雪の園・みらい、それぞれの音楽活動の中で練習を重ねています。手話をしながら歌も歌う…そして多くの人の前で発表する緊張感！！

実は、一緒に舞台に立つ職員の方が緊張感でいっぱい！！利用者さんの堂々とした歌声に励まされているのです。合同練習は2・3回しか出来ませんが、舞台に立った時の連帯感は、観ているみなさんに届いていることでしょう。レパートリーは『あおぞら』『上を向いて歩こう』『365日の紙飛行機』そして、NHK「明日へ」復興支援ソング『花は咲く』などあります。

♪はなあ～は、はあなは、花は咲く…♪ これからも一人ひとりの花を咲かせていきます。





旭川ヒューマンサービスセンター



高野沙織さん



中村伸晃さん



菅野達也さん



小川真一郎さん

柏の里デイセンター



谷渡さん



柴口君子さん



小田カツ子さん



北垣美華さん

大雪の園



木村 幸さん



影浦紀夫さん



小松真紀子さん



稲田千江美さん

みらい(Mirai)



柏倉佑美さん



谷島 祥さん



堀田孝一さん

ぴあふる岩山



九軒里紗さん



佐藤大亮さん



川崎武志さん

法人自治会活動

利用者の方が主体となり、自分たちの暮らしや、活動が豊かになるように取り組んでいます。

自治会合同の勉強会



他法人自治会との見学・交流会



大雪の園
自治会



旭川ヒューマンサービスセンター
自治会



柏の里デイセンター自治会



みらい(Mirai)自治会



ぴあふる岩山自治会



とわ北斗自治会



法人アフター5活動 ソフトボール&太鼓

日中活動が終わった夕方に、大会やイベント発表に向け、ソフトボールや太鼓を楽しみ、そして気持ち良く汗を流しています。



フラワーガーデン

地域の皆さんや家族の皆さんの協力を得て少しずつ整備してきました。平成22年には家族会様から150万円の助成もいただきました。現在は二百種の宿根草が季節ごとに咲き、いろいろな表情を見せてくれます。

これからも沢山の方々が訪れてもらえるよう、花の苗や肥料の販売、ソフトクリームにも挑戦したいです。



カンパニュラ



サンギソルバ



セファラリア



スイレ



クレマチス



フロックス



ROCKY LAND

多くの人が集う観光農園を目指して



多くの人が集う観光農園に向けて、ワイナリーの設立を目指しています。安心・安全で美味しいワインを作ることによって皆さんに喜ばれ、誇りとやりがいを持って働ける環境づくりに取り組んでいます。

TOWAHOKUTO VINEYARD



新ブドウ畑開拓



トマト栽培・ジュース加工・野菜栽培



LA BRILLRER 2018



L'Assemblage 2019



「セカイノカタチ」

鷹栖共生会の三十年

<編集委員>

谷 敏彦 石山 和則 寺崎 純人 野村 江
鈴木 稔朗 佐々木 匡 西塚 貴康 近野 裕滋
川西 俊嗣 林 祐也

社会福祉法人 鷹栖共生会 法人設立三十周年記念誌

発 行 社会福祉法人 鷹栖共生会
北海道上川郡鷹栖町18線9号
電話 0166-87-3113
FAX 0166-87-3358

発行日 令和3年1月20日
印 刷 東信印刷株式会社